



南関中スピリッツ

「自分の限界に挑戦！チャレンジ南関中」

R3年度南関中学校学校便り

自主 創造 友愛

NO. 22 (文責 永杉尚久)

南関中卒業式

51名が巣立つ！

3月4日南関中学校第36回卒業式を行いました。コロナの影響で1年生は教室でのリモート参加、来賓のご案内は控えて時間を30分短縮して実施しました。



3年生は、最高の姿を見せてくれました。1、2年生は最高の準備と送り出しをしてくれました。

特に、2年生は冷え込みの厳しかった中でじっと耐えながら、3年生の姿を見つめていました。南関中のリーダーとしてのたくましさを感じました。



これから、3年生は自分の夢に向かって大きく羽ばたいてくれるでしょう。

1、2年生の生徒たちは卒業式を、1年後、2年後の自分に重ねてくれたことと思います。将来の自分に向かって、様々なことに挑戦し、力を蓄えて来たるべき時に備えて欲しいと願います。

時間はあっという間に過ぎていきます。この一刻(ひととき)を大切にして、今出来ることを精一杯やり切りたいと思います。「自分の限界への挑戦は、これからも続く」卒業式で思ったことです。

南関中学校運営協議会

3月8日に第3回の会合を持ちました。今回は、2月に実施した学校評価をもとに今後の学校運営について5名の委員様よりご意見をいただきました。主な内容は次の通りです。

- ①授業の中で分からなくなった時に、「分からない」と自由に声を出し解決できる雰囲気をつくって欲しい。
- ②コロナ禍の中で、生徒同士の繋がりが弱くならないか心配。生徒をしっかりと見つめて寄り添って欲しい。
- ③不登校生徒の増加は心配である。原因を捉え、家庭や関係機関と連携して解消に取り組んで欲しい。
- ④キャリア教育の充実には、コミュニケーション力を付けることや体験を通して達成感を味わわせることを大切にしたい。等です。

いただいたご意見をもとに学校経営の改善に努めて参ります。

今日の論語

【今日の論語】

子曰く、「剛毅木訥 仁に近し。」と。

先生はいわれた、「自分の意見や考えをしっかり持っていて、無駄なことは言わない。そんな人が誠実な人である。」と。

言葉は、使いようによっては宝物にもなり、相手を傷つける刃物にもなります。言葉を大切に、丁寧に扱えるよう気を付けたいと考えています。

また、必要以上に人の機嫌を取ったり、調子のいい話をしたりするよりも、大事な時にきちんと話ができる人間になりたいと思います。